

令和5年2月28日

新城市長 下江 洋行 様

新城市男女共同参画審議会
会長 鄭 智允

新城市の男女共同参画施策について（答申）

令和4年7月13日付け新市自6・1・9で諮問のありましたこのことについて、下記のとおり答申します。

記

諮問事項

「新城市パートナープランの基本的な計画の実施状況の点検及び評価に関すること」

新城市男女共同参画審議会では、新城市パートナープランに掲げる基本目標に分類される各施策について、令和3年度実績報告及び令和4年度実施計画の提出を求め、審議を行った。

今年度は、新城市パートナープランの前期計画期間の中盤であり、今後の目標の達成につながる大事な時期であると捉えている。令和3年度の計画全体の進捗を検証し、目標達成に向けて、掲げる目標ごとに意見を以下のとおりまとめた。

基本目標1 男女共同参画社会についての意識改革、人権の尊重

施策の方向性(1) 男女共同参画に関する正しい理解の促進

施策の方向性(5) 人権の尊重

令和4年4月からパートナーシップ宣誓制度を導入し、また、東三河の自治体と連携協定を締結したことは、東三河地域全体が、性的少数者の置かれる状況を理解し、共に社会をつくる一員として認められる地域であることを示す第一歩であるとして評価する。

今後は、制度を整えた現状に満足することなく、継続的に啓発活動を行い、互いの多様性を認め合いながら、あらゆる立場の人々が個性と能力を十分に発揮できる、真に人権が尊重される社会となるよう取り組まれない。

基本目標2 家庭・地域等あらゆる場で男女が共に参画できるまちづくりの推進

施策の方向性(2) 行政区活動への女性の参画の促進

高齢化、高齢者雇用の進展により行政区活動の担い手不足という声がある一方、地域の伝統や慣例で区長などの役職は男性が多くを占めている。特に小規模な行政区においては、担い手不足が喫緊の課題となっている。

持続可能な地域社会を構築するためには、地域住民が持つ固定的な性別役割分担意識を変え、性別に関係なく、誰もが積極的に行政区の役員に参画できる環境を整備することが重要である。

行政区の業務内容の見直しや仕組みづくりを行ったり、女性役職者登用のための講演会等を開催したりするなど、女性はもとより、すべての地域住民が地域活動に参画しやすい環境整備の支援を行い、地域活動における男女共同参画の推進を図らるたい。

基本目標3 就業の場での女性の活躍促進

施策の方向性(2) 女性のチャレンジ支援

「女性の職業生活における活躍の推進に関する法律（女性活躍推進法）」が施行されて以降、社会における女性の活躍に対する期待が高まっている。女性個人の意欲と能力を生かし活躍できる環境整備を促進し、子育て等により職業を一度中断している女性の職場復帰や、意欲のある女性の起業・創業の支援等の充実が重要である。

男女が共に活躍できる社会を実現するため、仕事と生活の調和に対する取り組みへの理解と、それを支える管理職や経営職（いわゆる「イクボス」）の取り組み促進、就労・再就職支援のための講座の開催及び情報提供等も併せて推進されたい。

基本目標4 生涯にわたる心身の健康と生活の充実

施策の方向性(1) 生涯を通じた心身の健康づくりへの支援

生涯を通じて自分らしく充実した生活を送るために、思春期、子育て期、高齢期といったライフステージごとの健康課題について正しい知識を持ち、健康づくりに取り組むことが重要である。

新型コロナウイルス感染症の感染対策により地域のつながりの希薄化、子育てをしている方や介護をしている方の孤立化、また高齢化の進展による老老介護の問題が課題となっている。これらの現状を踏まえ、地域に暮らす全ての人々が社会的に孤立せず、安心して暮らすことができるよう、健康づくりの取り組みを進めるとともに福祉サービスの充実を図り、地域と行政の連携による見守りや支援の充実を図らるたい。

共通事項

令和3年度は新型コロナウイルス感染症の感染対策により、多くの事業が中止や変更を余儀なくされてきた。また、生活様式の急変による新たな問題も生まれている。

そのような状況の中で、男女共同参画を進めていくためには、機関間及び部署間の連携を強化することが重要になると考える。コロナ禍でも創意工夫を凝らし、市民が関心を持てる内容の事業を実施することで、成果を出していくことが求められる。

男女共同参画社会の実現のために、新城市パートナープランが着実に達成されるよう取り組まれない。

おわりに

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、人と人との関わり方が変化していく中、高齢者や障がい者、LGBT等の性的少数者、外国人など、孤立しがちな立場の方たちへの支援はもちろんのこと、いかに個人を尊重し、互いの多様性を認め合うかが、豊かな人間性と社会を守っていくための鍵となる。

また、高齢化により地域の担い手が減っていく中、意欲のある人の参画する機会が性差により奪われることがないように、活動しやすい環境を整備することが、男女共同参画にとって大きな一歩となる。地域ごとに状況の違いはあるが、現状を把握し、様々な人々が共同して社会に参画していくための考え方に基づき持続可能な社会の構築に努められることを強く要望する。